

日本アートマネジメント学会第25回全国大会 12月10日（日）分科会

午前		分科会① アートプロジェクト 座長 熊倉純子 511教室	分科会② キュレーション 座長 荻野哉 521教室	分科会③ 文化事業 座長 藤野一夫 524教室	分科会④ 教育・普及 座長 高島知佐子 531教室
9:30-10:10	タイトル	社会人大学院のアートマネジメント教育 —”記憶の地図”を巡るアートプロジェクトを 事例に	マンガ・アニメ・ゲーム・特撮関連資料と アート作品を並置する 企画展示の成り立ちと推移の背景について —— 展示施設におけるサブカルチャーとハ イカルチャーをめぐる変化の一断面 ——	「国際音楽コンクールの存続可能性」 —神戸国際フルートコンクールを事例に—	内モンゴル自治区における民族音楽の継承 の実態 —小学校音楽教師へのアンケート調 査から
	発表種別	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
	発表者	吉田隆之	羽吹理美	松本茂章	麦 宸多
	所属	大阪公立大学大学院	明治大学大学院国際日本学研究所国際日本 学専攻ポップカルチャー研究領域	文化と地域デザイン研究所	名古屋芸術大学大学院
	共同発表者				梶田美香
10:10-10:50	タイトル	アートプロジェクトの分析手段としての拡 張的学習理論の検討—(成人)教育学の視点か ら—	フィリピンのミュージアムにおける〈伝統 芸能〉の展示事例 —マニラ、バギオシティー	現代の音楽をいかに記録するか、その課題 と可能性—「スタイル&アイデア：作曲 考」を事例に—	鑑賞教育における教育的意義の研究
	発表種別	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
	発表者	石田 絵里香	中西 美穂	西村聡美	橋口 静思
	所属	関西大学大学院文学研究科 博士前期課程	一般社団法人HAPSリサーチャー		宝塚大学
	共同発表者			小島広之（東京大学大学院・博士後期課 程）、坂本光太（京都女子大学助教、 チューバ奏者）、八木友花里（打楽器奏 者）、原 壘（日本学術振興会特別研究員 （東京大学）・PD)	
10:50-11:30実践報	タイトル	ワークショップ成果報告 —野焼きによる土偶づくり—	雅楽公演の現代的キュレーションの試みに ついて～木戸敏郎氏の例を手がかりに	劇場におけるアウトリーチ実態調査 ～クラシック音楽分野におけるアーティス トと担当者の関係性に焦点を当てて～	子どもの貧困に寄与するアートプログラムの アクションリサーチ
	発表種別	実践報告（20分）	研究発表	研究発表	研究発表
	発表者	宇田川 耕一	小野真龍	梶田美香	酒井雅代
	所属	北海道教育大学	天王寺楽所雅亮会副理事長、関西大学客員 教授	名古屋芸術大学	東京藝術大学大学院国際芸術研究科創造 博士後期課程
	共同発表者	森本 杏 北海道教育大学	志村聖子（相愛大学）		
	タイトル	メタバース空間における文化芸術活動			
	発表種別	実践報告（20分）			
	発表者	田中冬一郎			
所属	一般社団法人ワオンプロジェクト				
	共同発表者				

午後		分科会⑤ ビジネス・マーケティング 座長 宇田川耕一 511教室	分科会⑥ 文化施設 座長 吉田隆之 521教室	分科会⑦ 社会包摂 座長 田中修二 524教室	分科会⑧ まちづくり・地域社会 座長 松本茂章 531教室
13:30-14:10	タイトル	アマチュア音楽家のクラシック音楽の演奏 会場スタイルおよびSNSでの来場報告に 関して	美術館・博物館による収蔵品の放出 (Deaccession)	障害者の表現活動に関する研究における現 象学的研究の可能性—海外での動向に着目 して—	アートマネジメントの中のエリアマネジメ ント
	発表種別	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
	発表者	山口恭正	島田真琴	高石萌生	谷口 彩
	所属	仙台大学	一橋綜合法律事務所・弁護士	九州大学大学院芸術工学府 博士後期課程	SAI Co-Cre Labo 共創型プロジェクトマ ネージャー
共同発表者					
14:10-14:50	タイトル	日本における文化施設と企業のコラボレ ーション：ループル美術館を事例にした比較 分析と展望	劇場・音楽堂等の多様なアートマネジメン ト人材確保を考える ～女性リーダーの軌跡に着目して～	「音楽の鑑賞環境とろう者や聴覚障害者」 に関する研究の動向と課題	鉄鋼産業の文化資源化 -ポスト産業都市・リンツ市における事例研 究-
	発表種別	研究発表	研究発表	研究発表	研究発表
	発表者	柳沢ゆかり	梶田美香	萩原昌子	蒔野真彩
	所属	FUNDART代表／インディペンデントファ ンドレイザー	名古屋芸術大学	九州大学大学院芸術工学府 博士後期課程	東京大学総合文化研究科・多文化共生統合 人間学プログラム博士後期課程
共同発表者		関鎮京、志村聖子			
14:50-15:30	タイトル	アートマネジメントとしての Ars-Based Research 「慶應クラファン あなたのライフを作品に する」	行政職としての劇場職員の専門性 —長久手市文化の家を対象としたケース スタディー	障害当事者と大学生の共創的芸術実践によ る障害理解の必要性 — 成蹊アートプロジェクト2023 を事例と して—	
	発表種別	実践報告 (20分)	研究発表	研究発表	
	発表者	岡原正幸	山本宗由	槇原 彩	
	所属	慶應義塾大学	長久手市文化の家	成蹊大学	
共同発表者		生田創 (長久手市文化の家館長)			
15:30-15:50	タイトル		札幌文化芸術交流センター SCARTS にお ける文化芸術活動支援 ～公立文化施設が有する中間支援機能につ いて～	コロナ禍を経たコミュニティダンスの展 開、その成果と課題 ～パーキンソン病におけるダンス活動 (PD ダンス) の事例から～	
	発表種別		実践報告 (20分)	実践報告 (20分)	
	発表者		松本桜子	古賀弥生	
	所属		公益財団法人札幌市芸術文化財団 市民交 流プラザ事業部 センター事業課	芸術文化観光専門職大学	
共同発表者					

2023年11月22日現在、変更の可能性があります。